

令和5年度学校給食用牛乳供給円滑化推進事業のうち学校給食用牛乳供給推進会議の実施結果
(九州農政局)

都道府県名	福岡県		佐賀県	長崎県		熊本県	
(1)会議等の名称	第1回学校給食用牛乳供給推進協議会	第2回学校給食用牛乳供給推進協議会	学校給食用牛乳供給事業実施計画策定等に係る会議	学校給食用牛乳供給推進会議	学校給食用牛乳供給推進実務担当者会議	学乳推進協議会	学乳推進協議会
(2)日時	令和5年7月24日	令和6年3月26日	令和6年3月22日	令和5年11月7日	令和6年3月26日	令和5年8月23日	令和6年3月18日
(3)場所	福岡市	福岡市	佐賀市	長崎市	諫早市	熊本市	熊本市
(4)参加機関と人数	行政、県給食会、関係団体等11名	行政、県給食会、関係団体等10名	行政、県給食会、関係団体等9名	行政、県給食会、関係団体等8名	行政、県給食会、関係団体等7名	行政、県給食会、関係団体等9名	行政、県給食会、関係団体等11名
(5)議題	・酪農情勢について ・学乳情勢について	・酪農の現状について ・学乳供給の現状について	・令和5年度学校給食用牛乳供給事業 ・令和6年度学校給食用牛乳供給事業内容 ・令和6年度学校給食用牛乳供給事業実施計画	・令和4年度事業の実績について ・令和5年度事業の実施状況等について ・その他	・令和4年度学校給食用牛乳供給推進実績について ・令和5年度学校給食用牛乳供給推進交付申請および実施状況について ・その他	・令和4年度学校給食用牛乳供給事業実績について ・令和5年度学校給食用牛乳供給事業計画について ・令和5年度学乳のHACCPに沿った衛生管理の取り組みについて	・令和5年度学校給食用牛乳供給事業実施状況について ・令和6年度学校給食用牛乳供給事業計画について ・令和6年度学校給食用牛乳の衛生管理の取り組みについて
(6)概要	【主な意見等】 ・期中改定で保護者負担が増加する対応は望んでいない。 ・学乳の供給価格については、年度統一価格が望ましく、年度途中で価格変更は困難である。次年度の価格が決まる2月の見積徴収時に県が提示する予定価格に値上がり分を織り込むように関係者が努力すべきではないか。	【主な意見等】 ・昨年8月の乳価再値上げで、酪農経営もやや落ち着きを取り戻したようで、今年1月2月と生産量は改善しつつある。 ・学乳だけでなく他の給食用材料費もかなり値上がりしており、物価高騰対策の交付金がいままで続くか分からない状況であるため、今後はある程度父兄負担を負ってもらう必要があると思う。	令和5年度事業の経過ならびに6年度事業計画について検討	【主な意見】 ・県内におけるストローレスパックでの供給が進んでおり、令和5年の9月から供給している全区域すべてストローレスパックで供給を行っている乳業者もいる。 ・生徒数の減少などでメーカーは負担が増えていることと思うが、現在のとおり学乳供給継続をお願いしたい。	【主な意見】 ・令和6年度より県下すべてストローレスパックにて供給する。すでに9月から供給している区域もあるが、ストロー配布は目に見えて減った感じはしない。(要望があればストローは配布している) ・隔日配送等について、配送業者は今でも夏休みなどでの人員確保・配置に苦慮していると聞くので、隔日配送となると運賃上昇になる可能性もあると思う。	・令和4年度学校給食用牛乳供給推進事業実績について事務局より報告。 ・HACCPに沿った衛生管理の徹底を会員に周知したことや、供給事業者の現状について説明し協議した。	・令和5年度学校給食用牛乳供給推進事業実績見込みについて事務局より報告。 ・令和6年度学校給食用牛乳供給推進事業計画内容について熊本県畜産課及事務局より説明し協議した。 ・事務局より令和6年度学乳の品質事故発生時の対応マニュアルが報告され協議会メンバー全員に周知徹底された。
(7)成果	・令和5年度の福岡県の学乳供給価格の年度途中での価格改定については県、学校関係者全員が困難という意見であった。 ・毎年2月に行われる次年度価格の決定時に乳価の値上がり分を織り込んだ形の対応を検討すべきであろうという結論となった。	・学校給食の食材費は牛乳ばかりでなく多くの食材価格が上昇しており、交付金等の活用でも追いつかない部分は保護者負担の増額をお願いするしかない。 ・供給側も、コスト削減に努め、消費拡大対策等により消費者に理解を求めながら、学乳の安定供給に努めるということが必要。	学校給食用牛乳の供給に係る機関の担当者へ5年度の事業経過ならびに6年度の事業内容・計画について検討を行い、事業の円滑な実施に向け連携が図れた。	出席者全員の学乳に対する共通認識、相互理解が得られた。	令和6年度事業内容の把握ができ、課題や問題点を出席者全員が共有できた。	・令和5年度事業内容について周知できた。 ・HACCPに沿った衛生管理の徹底について共通認識をもてた。	・令和5年度事業実施状況について共有できた。 ・令和6年度事業内容について周知できた。

令和5年度学校給食用牛乳供給円滑化推進事業のうち学校給食用牛乳供給推進会議の実施結果
(九州農政局)

都道府県名	大分県			宮崎県	鹿児島県	
(1)会議等の名称	学校給食用牛乳供給推進会議	学校給食用牛乳供給推進会議	学校給食用牛乳供給推進会議	令和5年度宮崎県学校給食用牛乳協議会	学校給食用牛乳供給推進会議(第1回)	学校給食用牛乳供給推進会議(第2回)
(2)日時	令和5年7月24日	令和5年11月17日	令和6年3月6日	令和5年12月15日	令和5年7月18日	令和6年3月13日
(3)場所	大分市	大分市	大分市	宮崎市	鹿児島市	鹿児島市
(4)参加機関と人数	行政、県給食会、関係団体等12名	行政、県給食会、関係団体等13名	行政、県給食会、関係団体等11名	行政、県給食会、関係団体等15名	行政、県給食会、関係団体等16名	行政、県給食会、関係団体等14名
(5)議題	・学校給食用牛乳供給事業について ・令和4年度学校給食用牛乳供給事業の実績について ・令和5年度学校給食用牛乳供給事業の計画について ・衛生管理に関する講習会	・酪農乳業における現状について ・学校給食用牛乳供給価格の見直しへの理解醸成について	・令和5年度学校給食用牛乳供給推進事業の実施状況について ・令和6年度学校給食用牛乳供給推進事業の計画について	・令和5年度学校給食用牛乳供給推進事業について ・令和5年度宮崎県牛乳普及協会事業計画について ・学校給食用牛乳供給事業に関する事業評価、課題の検討について	・酪農情勢について ・令和5年度学校給食用牛乳供給推進事業について ・令和4年度学校給食用牛乳供給推進事業実績について ・令和5年度学校給食用牛乳の期中改定について	・令和6年学校給食用牛乳供給推進事業の概要について ・令和6年度学校給食用牛乳供給事業計画について
(6)概要	・学乳期中改定の状況報告と酪農乳業の現状理解と共有 ・学校給食における食中毒と異物混入の防止について	・学校給食用牛乳の供給価格改定に伴う対応の経緯説明 ・供給価格改定の通知方法	・学校給食用牛乳供給区域再設定の検討の必要 ・学校給食用牛乳空容器回収の認識 ・学校給食用牛乳供給日数の他県の状況 ・学校給食用牛乳発注様式統一の状況	【主な意見等】 ・酪農は依然として厳しい状況にある。 ・学校給食用牛乳の供給価格の決定についての要望として、給食用牛乳にかかる生産費の調査を対象乳業社を対象に今年も実施してほしい。 ・学校給食がなくなる高校生以降も牛乳を飲用する習慣を身に付けてもらうための啓発が必要である。	【主な意見等】 ・期中改定等の情報は早めに周知してほしい。 ・牛乳が高級品になってきており、給食での牛乳供給はなくともいいのではないかと声も出ている。 ・酪農情勢が厳しく、鹿児島県内でも離農する酪農家が出てきている。牛乳の安定供給のためには価格改定についてもご理解いただきたい。	【主な意見等】 ・牛乳だけではなく、他の食材・調味料等も値上がりしており、予算内での献立作成に苦慮している。 ・中学校でも大型容器での飲用を推奨したいが、物価高騰など予算の問題等もあり難しい。 ・限られた配送時間の中で、飲用に支障の無いよう、また輸送コストの低減にも努めており、ご理解をいただきたい。
(7)成果	当該年度の事業内容、事業計画についての情報共有を図り、今後の取り組み課題等の共通認識が図られた。	令和5年12月からの供給価格改定が実現した。	次年度の事業内容を理解し、各機関と連携し円滑な実施が図られた。	学校給食での牛乳供給を計画的かつ効率的に供給するため、酪農情勢や酪農乳業の課題等も含め関係者で意見交換を行うことができた。	酪農乳業界の現状が理解され、牛乳供給価格の期中改定見直しについても今後の円滑な事業推進に向けた共通認識が図られたと考えられる。	・事業の仕組み、概要等が理解された。 ・本県酪農の現状等が理解され共通認識が図られたと考えられる。 ・令和6年度事業実施計画の内容が再確認された。 ・当該事業の円滑な推進に向けた共通認識が図られた。